

NEWS LETTER

NEWS

2025年度 京都府立大学地域貢献型特別研究(府大 ^{アクター}ACTR)決定！

- 本学では、京都府内の地域振興や産業・文化の発展等に貢献することを目的として、2004年度から**地域貢献型特別研究(府大 ACTR)**に取り組んでいます。
- 今年度は、府内の市町等から40件の提案に対し、本学研究者から22件(市町等からの提案38件に対応)の研究計画書の応募があり、審査の結果、**17件の研究が採択**されました。
- 今後は各地域での調査研究が始まります。研究の進捗は、センターのウェブサイトでも随時、報告する予定です。

府大^{アクター}ACTRとは？

ACTRは、Academic Contribution To Regionの略で、「地域に貢献する学術研究」を意味します。京都府内の市町村、府内に立地する企業、NPO等から寄せられた地域課題の提案に基づき、本学教員とマッチングが成立した研究に対して、学内外の審査員による審査会を経て決定しています。

(文) 文学部 (公) 公共政策学部 (生) 生命環境科学研究科 (農) 農学食科学部

研究課題	代表者	主な活動地域
文化遺産の記録化・記憶化による地域未来の創出に関する実践的研究	諫早 直人 准教授(文)	京丹後市
京都府北部の文化資源活用と生成 AI による高大連携教育の実践	東 昇 教授(文)	舞鶴市, 福知山市, 宮津市, 与謝野町, 綾部市, 京都市
文化庁連携による地域歴史遺産の体験型世代継承 一住民参加による綾部市君尾山 きみのおさん 光明寺の石仏発掘一	横内 裕人 教授(文)	綾部市
着地型観光の推進による地域経済の発展 一井手町における着地型観光の現状分析と今後の展開一	岩松 義秀 客員准教授(公)	井手町
京丹波町の地域経済構造分析とデジタル地域通貨を用いた 域内経済の好循環化に関する研究	川勝 健志 教授(公)	京丹波町
全国都市緑化フェアを契機とした地域振興および地域・都市間交流の促進	松岡 京美 准教授(公)	亀岡市
府下自治体の脱炭素化を加速するための調査研究 一宇治市、福知山市、久御山町を対象として一	森下 正修 教授(公)	福知山市、宇治市、久御山町
京都在来ブドウ品種「聚楽」復活栽培に向けた課題解決と京果樹ブランドの新展開	板井 章浩 教授(生)	京都府農林水産技術センター, 京都府立桂高校
スマート農業を利用した省力、低コスト鳥獣害軽減方法の実践	板井 章浩 教授(生)	京都府農林水産技術センター, 木津川市
宇治茶を代表する抹茶原料の副産物である茎の抗菌物質の実用化を目指した研究	岡 真優子 准教授(生)	京都府農林水産技術センター
地域森林資源サプライチェーン京都モデルの社会実装研究	神代 圭輔 准教授(生)	南丹市, 京丹波町, 京都府立林業大学校, 京都府立北桑田高校
夜久野末窯跡群を支えた環境史の解明とその活用	佐々木 尚子 講師(生)	福知山市
若いもの・褐変現象を利用した新規機能性野菜・食品の開発	伊達 修一 講師(生)	精華町
地域養鶏の副産物を“食の資源”に！ 一卵殻膜を使った高付加価値食品の開発一	田中 俊一 准教授(生)	宮津市, 舞鶴市, 宇治市
環境・歴史・観光・伝統産業都市京都を守り広めるための 竹林整備と竹林材の認証制度制定によるブランド化	古田 裕三 教授(生)	京都市 ほか
ヒトデ堆肥の施用が「天橋立生姜」の機能性成分に及ぼす影響と 地域特産物開発による地域活性化支援	村元 由佳利 講師(生)	宮津市
食文化と特産品を活かした地域づくり ～高校、大学を通じた特産品の開発～	小林 啓治 教授(農)	京丹波町

京都地域未来創造センター ^{カープ} (KIRP) 新体制の紹介



センター長 岩崎 雅史 生命環境科学研究科 教授



主なプロフィール
はこちら▼



昨年度は、素晴らしい地域貢献研究の数々をご報告いただき、個人的にもたくさんの示唆と学びを得る充実した1年となりました。いろいろとご尽力くださった皆様に心から感謝申し上げます。今年度も地域と大学が互いにより刺激を与え合い、それぞれの「味」を深め合いながら、豊かな地域社会の形成に向けてさらなる進化を遂げられることを願っております。KIRPとしては昨年度までの取り組みに加え、今年度はこれまでの研究成果が府内全域で最大限に活用されるような仕組みづくりに挑戦します。とりわけ、KIRP データベースの魅せる化は重要な課題であり、地域の方々が大学との協働を積極的に考えられるように、真のオープン化を図りたいと考えています。

副センター長 上杉 和央 文学部 教授

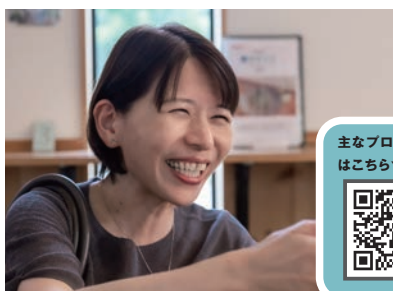


主なプロフィール
はこちら▼



副センター長を仰せつかり、2年目となりました。最近は各地で歴史や文化を活かした地域づくりが盛んとなっています。そうした現場にお邪魔する機会も多くなりましたが、各地で大学と地域との連携が進んでいることを肌で感じます。そうした状況下においては、府立大学らしい取り組みとはどういった点にあるのかを考え、それらを積極的に発信することが不可欠だと思います。幸い、KIRP はそうした分野にも造詣の深いセンター長で現体制が組まれています。これからも、KIRP として効果的な発信に取り組んでいければ、と思います。

副センター長 岡 真優子 生命環境科学研究科 准教授



主なプロフィール
はこちら▼



京都は、長い歴史と豊かな文化に加え、四季折々に移ろう美しい自然も大きな魅力の一つです。大学時代に、東海道五十三次の西の起点である三条大橋にある土下座像の前で友人と待ち合わせ、寺院を気ままに巡った楽しい思い出があります。近年では海外からも多くの観光客がこの地に魅了され、京都を訪れています。この京都の魅力を未来へと受け継ぐため、KIRP の一員として地域貢献活動に携わる機会を得ました。この一年間、京都の文化遺産や森林、海洋資源、農業・畜産といった地域の多様な営みを学びながら、京都府立大学と地域社会とのつながりを実感できるセンターの運営に積極的に関わっていきたくと考えています。

企画調整マネージャー 岩松 義秀 公共政策学部客員准教授



主なプロフィール
はこちら▼



KIRP はこれまで、研究という視点を持って試行錯誤を繰り返しながら地域貢献に繋げるための組織として進化してきたのではないかと考えています。

地域が主体となって地域に根差した政策を策定することが地域の振興発展には必要ですが、そこで重要なのは未知の事柄を探索し、新たな知識や発見を生み出すための体系的な探究活動である研究という視点が必要になると考えています。

これまで分野を超えた交流や協働連携を実務で進めてきたところですが、研究においてもその重要性を知る昨今です。新体制は、まさしく分野・領域を超えた体制ですので、叡智を絞り、また、多くの府民の方々とともに地域課題の解決に向けて取り組んでいきたいと考えています。

地域とのつながりを私たちがサポートします

- 2025 年度京都地域未来創造センター ^{カープ} (KIRP) 組織体制
コーディネーター(非常勤): 鈴木 暁子
市町村研修生: 中村 真莉子(精華町派遣)
事務補助職員: 村上 央子

KIRP の活動についての詳細は
ホームページをご覧ください。

